

# 創立125周年 記念事業

## 創立125周年記念事業 計画の概要

### ■ 計画内容と主な進捗状況

- ①世界で活躍する高度専門職業人教育の拡充及びその教育拠点となる都心キャンパスの整備（国際会計研究科（平成14年4月開校）、法科大学院（平成16年4月開校）、ビジネススクール（平成20年4月開校））
- ②理系学部・大学院の教育研究体制の一層の充実、世界レベルの研究交流、産学官共同研究開発の推進（後楽園キャンパス新3号館建設（平成15年2月竣工））
- ③文系学部・大学院の研究教育体制の一層の充実
- ④学生のキャンパス生活と課外活動の充実・強化（多摩学生生活関連棟「Cスクエア」建設（平成15年4月竣工））
- ⑤国家試験に挑戦する学生に対する教育・支援体制の強化、国家試験に強い本学伝統のさらなる発展（多摩学生研究棟「炎の塔」建設（平成14年7月竣工））
- ⑥各学部・大学院教育等に対する支援体制の強化と文化・スポーツ活動の充実
- ⑦社会に開かれた大学づくりの推進と大学と社会の交流拠点となるモノレール駅前「グリーンテラス」建設（平成15年2月竣工）及び「21世紀館（仮称）」の建設
- ⑧学部周年事業
  - ・法学部125周年（平成22年）
  - ・経済学部100周年（平成17年）
  - ・商学部100周年（平成21年）
  - ・理工学部50周年（平成11年）
  - ・文学部50周年（平成13年）
  - ・総合政策学部15周年（平成20年）

■ 今期理事会が法人における重点事項として位置付け実現する創立125周年記念事業計画（5頁上段記載の(3)法人における重点事項参照）

- ①教育の質の向上、研究体制の質の向上に資する多摩キャンパスの施設設備の整備充実
- ②都心新施設の確保策及び後楽園キャンパスの現状検証による施設設備の一層の整備充実
- ③専門職大学院の徹底的強化策実施と施設設備の整備充実  
学部教育の拠点である多摩キャンパスと後楽園キャンパスは、未来に羽ばたく若者たちが知的基礎体力と母校愛を育むホームランドです。多摩のホームランドには、中央大学の過去・現在・未来を結ぶ複合施設「21世紀館（仮称）」を建設します。後楽園のホームランドでは、現状検証による施設設備の一層の整備充実とともに、専門職大学院の徹底的強化策と併せてその施設設備の整備充実を実現します。
- ④中央大学におけるスポーツ活動の振興策を抜本的に講ずる

母校の選手の活躍は、全ての中大人の心を熱くし、学員の一体感を高めるのみならず、「文武両道の中央大学」を広く社会にアピールする上で計り知れない力となります。中大スポーツの再生を図るべく、指導体制の強化と練習環境の整備により、選手たちが高い目標に向かって「練習に励む環境」を創るとともに、選手が学生としての本分を發揮できる生活環境の整備に努めることで、積極的に授業に出席できる「学びの環境」も整えていきます。

